



フィナーレを飾ったくじ付き紅白もち投げ

本市農業の魅力を発信

第13回そうさ農業まつり

そうさ農業まつりが11月11日、市役所南側駐車場をメイン会場として開催され、晴天にも恵まれて、多くの来場者でにぎわいました。

須合重徳実行委員長の「匝瑳市の農業の魅力を発信し、市を活気づけましょう」とのあいさつを皮切りにスタートした祭りは、丸太切り競争をはじめ、のさか太鼓の演奏やピアダンスの発表、植木オークションなどのステージ企画を実施。テントが立ち並んだ会場では、新鮮な野菜や手作り加工品、色鮮やかな花植木の販売の他、若潮牛の焼肉の試食などが行われ、地元産品を買い求める人で行列ができました。フィナーレは、景品が当たる恒例のくじ付きもち投げで締めくくられました。



軽快な口調で会場をわかせた植木オークション



丸太きり競争には6チームが出場しノコギリさばきを競った

選りすぐりの米が集まる

ふさがねコンテスト

千葉県生まれの米の品種・ふさがねの出来を競う「千葉ふさがねコンテストinそうさ」の審査会が10月26日、市民ふれあいセンターで行われました。

コンテストの開催は、ふさがねの消費拡大とブランド力向上を目的としたもので、昨年に続き2回目。出品された24点のうち予選会を通過した5点の審査が行われ、米穀店の従業員や一般消費者、「お米マイスター」の資格を持つ専門家ら21人が、味や食感、香りなど5項目をそれぞれ5段階で評価しました。

県内の生産者からの選りすぐりの一品が集まった中、最優秀賞には本市川辺の嶋田肇さんの米が輝きました。

審査員
出品されたふさがねを試食する



吉田小学校で10月24日、児童が自分たちの手で収穫したお米を、かまどを使って調理する体験が行われ、5年生15人が参加しました。

これは、食育の授業の一環として、地元の環境保全会や保健推進員のメンバーの協力を得て、田植えから収穫、食べるまでの行程を学ぶものです。かまどで炊き上げたばかりのご飯を口いっぱい頬張った児童たちは、一同「おいしい」と声を上げていました。

この他、大規模災害などの非常時に備えてポリ袋を用いて米を炊く方法も行われました。

炊き立てのご飯に舌鼓
吉田小で「かまど体験」



校庭に並んだかまどで
ご飯を炊く児童ら

全国大会に出場した角田さん(写真左)と林さん(同右)



「すばらしい演武を」 少林寺拳法全国大会に表敬訪問

少林寺拳法の全国大会に出場を決めた平和小学校6年の角田諒さんと野田小学校4年の林睦人さん(ともに千葉海匠拳友会所属)が、10月25日に太田市長を表敬訪問しました。

4年生時に同大会への出場経験がある角田さんは「2年前は6年生についていくので精いっぱいでした。今度はみんなと一緒にすばらしい演武をしたいです」、初出場の林さんは「足を引っ張らないようにがんばりたいです」と意気込みを語りました。

大会は、10月27日・28日に群馬県高崎市で開催され、2人は、他のメンバーとともに発表の部で団体演武を披露。角田さんは個人種目の組演武にも出場しました。

「笑顔でまちづくりを」

そうさちいきしんぶん・藤井さんが講演

市民ふれあいセンターで11月10日、地域新聞「そうさちいきしんぶん」を発行する藤井結花さんを講師に招いて、男女共同参画に関する講演会が行われました。

市内で書道教室を運営するかたわら、地域の魅力のある人取材し、手書きにこだわった新聞作成を行っている藤井さん。「女性が輝く『まちづくり』小さな書道教室の挑戦」のテーマで、教室を始めたきっかけや新聞づくりの裏話などをユーモアを交えて明かし、「好きなことをしているとご機嫌になる。まちづくりには笑顔が大切。小さな行動を起こした自分をほめてあげましょう」と大勢の聴講者に訴えかけました。



講演を行った藤井さん

ポイントをさがせ！

市民オリエンテーリング大会

野山などに設置されたチェックポイントを巡り、ゴールするまでの時間を競うオリエンテーリング大会が11月3日、天神山公園を中心とするコースで行われました。

2年ぶりに開催された今大会には、小学生や家族連れを中心に、22組78人がエントリー。八日市場公民館をスタートした参加者は、ポイントを書き写した地図と周囲の景色を見比べながら、秋が訪れて色づき始めた匝瑳の里山を巡りました。



コースに設置されたポイントを回る参加者

善行者を表彰



株式会社東京アーサシステム(市川市)からまちづくりへの支援のため、市へ100万円が寄付されました。これを受け11月1日、同社を善行者として表彰し、浅野正夫代表取締役と妻・みゆきさんに表彰状と記念品が贈られました(=写真)。

消防団実戦操法訓練

市消防団の実戦操法訓練が11月4日、市役所北側駐車場で行われました。全41か部が参加し、出場した団員は防火衣をまとい、連携して火元を想定した的に向かって放水を行うなど、日ごろの訓練の成果を披露しました(=写真)。



八日市場、のさか文化祭



八日市場とのさかの両文化祭が10月28日から11月17日にかけて、公民館やのさかアリーナなどで開催されました。歌謡や舞踊など多彩な発表の他、書道や造花など日ごろの制作活動の成果が披露され、来場者の目を楽しませていました(=写真)。